

モーツァルトの 青春と葛藤

パリ・マンハイム・ミュンヘン・
故郷ザルツブルク



2026.

2/21(土)

14:00～16:00

[開場 13:30]

講師 ◆ 浦川 玲子

受講料 ◆ 3,300円(税込) 定員 ◆ 50名

会場 ◆ 文京キャンパス 882教室(予定)

後援: ワンスタッフエグゼクティブ PTNA 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)

内容 前回講義では、マンハイムを訪れたモーツァルトがウェーバー家のアロイジアに恋心を抱き、さらに演奏活動が軌道に乗るパリで最愛の母の死に直面するなど、自立に向けてのさまざまな試練が明らかとなりました。今回講義では、アロイジアへの恋の行方、父と姉との平穏な生活と故郷への失望との間で揺れ動く心、ミュンヘンでの念願のオペラ上演など、二十代前半のモーツァルトの葛藤と創作活動について、楽曲の紹介を交えてわかりやすく解説していきます。ピアノ実演や音源、スライド、配布資料を活用します。目的・目標はモーツァルトの創作作品の内容、旅する若き音楽家として得た経験、周囲との人間関係や当時の社会的背景について知り、その心の内側を想像する体験を通して、より多角的な視点から作曲家の音楽作品を感受することができるようになること。

講師紹介 うらかわ れい こ 浦川 玲子 (東邦音楽大学・短期大学准教授)

東京音楽大学卒業。ウィーン国立音楽大学卒業(首席)。オーストリア国家ピアノ教授資格取得。日本大学大学院博士後期課程単位取得満期退学。さまざまな演奏活動のほか、YJPCや東京国際芸術協会などの各ピアノコンクールで審査員を務め、音楽の都ウィーンとの国際交流に長年携わっている。2016年度より東邦音楽大学エクステンションセンターにてW.A.モーツァルトの生涯をテーマにした公開講座を継続中。CD「愛の夢」[シューベルト即興曲集[全曲]]をリリース。日本ピアノ教育連盟、日境文化協会、国際ピアノデュオ協会、府中国際友好交流会、各会員。2003～2014年 尚美ミュージックカレッジ専門学校講師。2017年度ふじみ野市生きがい学習推進計画審議会委員。東邦音楽大学・短期大学准教授。



上記以外にも楽しい講座を沢山ご用意しております。お気軽にお問い合わせ下さい。

お問い合わせ
お申し込み先

東邦音楽大学エクステンションセンター

お申し込みは
こちらから

